

コーヒー党の機關誌



珈琲共和国

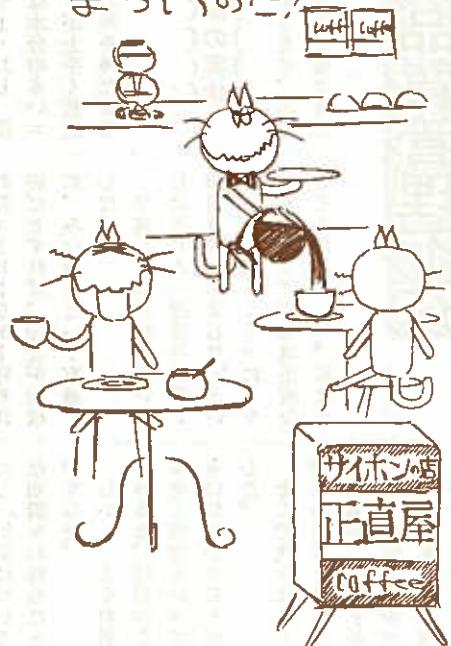
9月号

発行日 1974年9月1日
発行人 山内豊之
発行所 (株)日本珈琲販売共同機構
出版部 東京都世田谷区松原1-37
-20会田ビル 電(325)1142
西一知
編集人 (株)みづほ企画
編集所 東京都新宿区上落合1-5
-5 ハイツ長谷川801
電 (368)7709



ヤブニラミニアム 珈琲学

>2<

まづいものは
まづいのだ!

サイホンコーヒーについて

最近サイホンコーヒーの
店という看板をよく見かけ
ます。

これは恐らく、自分の店
はサイホンでコーヒーを淹
れているから、他店に比べ
て美味しいぞ、という意志
表示だと思います。

私もコーヒーにとりつか
れるキッカケとなったのが
東京渋谷にあるサイホンコ
ーヒーの店のコーヒーに入
れあげた結果なのですか
ら、サイホンコーヒーを馬
鹿にしたり、粗末にすると
バチがあたります。

ただ、あのサイホンとい
う器械は私のように(?)
馬鹿正直な器械で、コーヒ
ー豆の性質を実に正直に出
してしまいます。

言い換えれば、良い点も
悪い点もみんなさらけ出し
てしまうという美点(?)
があります。

品質の良いコーヒー豆を
使えば良質のコーヒーが抽
出されるし、悪ければこの

反対とハツキリと結果の出
る器械です。

私が皆さんにサイホンを
使わずペーパーフィルター
を使えというのは、ペーパ
ーフィルターであれば、良
い面だけを引っ張りだし
て、悪い面はそのままそっ

としておくという機能があ
るからです。
良い面=美味しさの要素
=カフェオール、カフェイ
ン、カラメルなどは十分抽
出させておいて、悪い面=
(ピロガロール酸)などは

すから、よほどコーヒー豆
の質が良くなれば、美味し
いコーヒーは得られませ
ん。

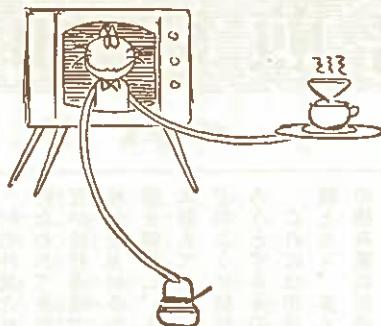
ところで、世界のコーヒ
ー事情は年々品質の低下の
一角へ向っていっていま
す。 ところで、世界のコーヒ
ー事情は年々品質の低下の
一角へ向っていっていま
す。 こうなって来ると、我々
の方は低下する一方であると
いうのが現状です。

このままでは、焙煎等でカバ
ーできない点は、調理段階
でサイホンのような馬鹿正
直な器械は敬遠するといつ
たふうな自衛策が必要にな
ってくると思います。
街角に立つサイホンコ
ーヒーの看板、その善意と信
頼を裏切る世界のコーヒ
ー業界の動き。

こんなことをしていると
コーヒーという飲み物その
ものが大衆にソッポを向か
れるぞ、という危機感。
私は一人のコーヒー愛好
家として、十数年前に飲ん
だ渋谷のサイホンコーヒー
の味を想い出しながら、複
雑な感情が胸の中をよぎる
のです。 (山内豊之)

珈琲ジャーナル

コーヒー業界をゆさぶるか



9月20日より
テレビ等でPRを開始

現在 コーヒー業界の注目を浴びている西ドイツの
コーヒー器具メーカーの一社、
〇〇パーセント外資会社、
メリタジャパン社がいよいよ
より9月より宮城活動を開始する。

メリタシヤパン社の話によると、三菱商事等大手商社を代理店に、生豆問屋や焙煎業者を特約店にして、既存のコーヒー流通ルートをすることになった。

最近、わが国のコーヒーベースは家庭用コーヒーの販売が業者の死命を制するものとみて、その具体策を模索

なケースも非常に多い。
たとえば、今年の長雨に豆の中に大地に混入して
よってアイスコーヒーの需るなど、ユーチャーの無知
要は見込み高を大幅に下回つけ込む商法が依然として
横行しユーチャーが安心し

日本珈琲小売商協議会設立へ
日珈販山内社長が提唱

を行ない、良質のものには推奨マークをつけるなどして、ユーザーの保護につとめたいと考えている。今後、時間をかけて、販売店や焙煎業者、他のコーヒーフェンダーに参加を呼びかけて行くつもりである。

当初メリタジャパン社の
計画によると、品質から
シユ（挽いたときの細か
さ加減）までを検定すること
になっていたが、実施段
階において「焙煎業者が始
定時に良質なコーヒー豆をす
り替える場合が予想され
る」との意見が出て、結局
提出し、検定後粗悪品にす
リタ推奨のみを検定し「マ
ンド」として、ワッペン等

商品力では検定基準に違反した場合でも強硬な措置がとれないこと」などから実施不可能との見解を示してきたが、メッシュのみの検定に関しては「素人商法の極みである。コーヒーは焙煎度合、品質等によつてメッシュをかえるのが常識。もしメッシュのみを統一すれば、そのこそ味がバラバラになつてしまふ」と批判している。

ではTBS、フジテレビ、大阪地区ではよみうりテレビからCM放映が9月20日より行なわれる。このCM詞・作曲はサッポロオリン

メリタジヤバン社では家庭用コーヒー豆の検定制度を取り入れるもようですが、このほどその大要が明らかにされるに従つて、その内容が大幅に後退していることが明らかになつた。

が前めことなつたと
いうことである。
この検定制度に対し、
日珈販山内社長は「品質に
しろメッシュにしろ、相当
数の優秀なスーパーバイザ
ーがいる限り管理ができ
ないこと。現在のメリタの

メッシュのみの統制へ

を支給することになつたと
いうことである。

この検定制度に対して、
日珈販山内社長は「品質に

しろメッツュにしろ、相当数の優秀なスーパーバイザーがいる限り管理ができる。現在のメリタのないこと。

による販売を進めるほか、直接家庭の主婦層を中心に一般消費者にアッピールするなど、多様な販売戦略を立てているとのことであります。

ピックのテーマ音楽の作曲者であり、先頃行なわれた東京音楽祭のグランプリを受賞した作曲家である村井邦彦氏をお招きするのである。

とにかく、コーヒーシー
ズンを迎えたコーヒー業界
秋の話題は、メリタジャバ
ン社の動向にからむことは
衆目の一致するところであ
らう。

珈琲調理学入門

「その十一」セミ・オートマチック

日本喫茶学院講師
喫茶技術コンサルタント

柄沢和雄



半自動抽出器である。電気式の抽出器に水を入れ、濾過器に粉を定量用意するだけで、自動的に湯が管を伝わって上昇し、孔から滴下されて抽出が行なわれる。従つて便利である。しかし、便利であることと「やさしい」ということはやや異なる。コーヒーの抽出および味に対する便利であるということは(都合が良い、経済的である、面倒でない)等々の作業を行なう一つの方法にしかならない。やさ

しいということは、作業に入前の必要な条件をのみ

込めば自然に解決できる。任は自分にあるのだと割り切れる。便利がよいということは、ややもすれば他の物(つまり器具)になすりつけてしまふことが多い。

△機械に
強くなろう▽

セミ・オートマチックは比較的小型が多く、五人用から二十人用ぐらいのもので、抽出時間と滴下される量と温度である。すなわち問題点となるものは、

①注水してからの上昇温度とその時間
②一回ごとの滴下量
③そのつどの間隔時間
④平均の温度の湯が滴下されるが。そのプラス、マイナスの差は

これが中心である。中型になればデカンタが二基あり、ウォーマーが二台ついているものもある。

水を抽出器に入れて温度が上がるまでに二〜三分かかる。さらにスイッチを入れ、抽出から濾過まで四十分経過する。問題はこの抽出時間と滴下される量との関係である。

だが機械はコーヒーの性格を見抜いてはくれない。

与えられた材料を正直に抽出するかどうか、性能によつて決められるだけであ

る。全面的に否定はしない

が、なぜオートマチックを使うのだろうか! を知り先述した条件によって、さ

らに原料問題を知った上で取り組むのであればよいわけである。つまり、

△不純物の影響は

△品質配合は

△粉碎状態は

△ローストは

△人分の差は

△抽出時間は

△抽出温度は

△抽出器の構造は

加非太平記 11

詩人・評論家 寺下辰夫



昔の焙煎と

珊瑚挽器のこと

とも考えられる。

長崎のオランダ屋敷あたりの珈琲の八焙煎について、あまり筆にする人がいない。これについては、

現作のようには進歩した／＼炒煎機械▽がない以上、彼等はフライパンや、これに類する鉄鍋式の器具をもつて焙煎するか、もしくは土鍋のようなものに八生豆▽を入れて焙煎したようにいわれているが、時には『ホーロク』などを利用して大豆を炒るような簡単な方法も使われたらしい。

いた珈琲が、もつとも美味であると述べている。サヴァランの説をもつてみると、現在のような電気で粉末にする珈琲は、最高の味といえないということになる。

たしかに、ドイツ製やフランス製のミール器具は便

私も昔は“手廻し”的のモードで、朝の香りを楽しみながら、毎朝の作業をこなしていました。

大量の豆が一度に焙煎でき
るようになり、かつ、焙煎
の時間も、さほど苦労なく
一定の△熱度▽がわかるよ
うになつた焙煎機械になつ
て、便利さにおいては、昔
と比較にならなくなつた。
しかし△味▽そのものは、
それほど進歩したとも言え



便利だし、時間もかかるないし、商売用には便利だが、古くさくても手廻しのミニルーカーで、ゆっくりと自分の好み程度の△粉末▽にした珈琲のはうが、うまいようにも思っている。

ところで、焙煎だが、萬
のようによーロクを使って
みたら、案外うまい具合に
焙煎が出来た。

なると、ついに面倒になつて、近年はドイツ製のミル器を使うように、無精になつてしまつた。

では、△味覚▽そのものは、なかなか進歩したとはいえない。話は、さらに変わると、古くさい昔のやり方となるが、長崎の名物の「胡麻豆腐」などは、いまのオートメーションの機械でつくった、デパートあたりで売っている△胡麻豆腐▽などとは、比較にならぬウマサである。

普通の豆腐でも、昔の豆腐屋さんが石臼で大豆をひいて作った時代の豆腐のはうが、はるかに美味だつた。和菓子だって、あるいは駄菓子だって、昔の手づくりのものがおいしかつた。してみると、新しい時代になり、新しい器具が発達したからといって△味覚▽というものは、進歩どころか、逆に退化することも多かったことは見逃せない。

△珈琲▽なども、半世纪から飲んできたコーヒーマニアの私だが、あの一杯五銭のカフェー・パウリマーチのブラジル・コーヒーも

手な商魂ばかりで商売して
いる喫茶店の珈琲などよりも、むしろ本格的で頂ける
珈琲だったといえる。
こんなことを思いめぐら
してみると、寛政年間以後
の長崎の珈琲の味が、そん
なに小馬鹿に出来ない（味）
だったようを考えられる。
たとえ、その焙煎器具や
△薬研▽で挽いた幼稚なも
のであったにしろ、珈琲の
味はそれほど格差がないの
ではないかと思考する。
私の十八番の「珈琲の味
は、まさこころの味なり」で、
珈琲を愛しむ人が珈琲をた
てれば、どんな豆の種類で
も、それなりのウマサがあ
ると私は思っている。
一日も珈琲を口にしない
と、暮せないようなコーヒ
ー・マニアの私だが、あま
り、珈琲に困苦しい理屈を
つけるいわゆる△珈琲通▽
などという人たちには、私
は親近感がもてない。
ただ、自分の好みの珈
琲を飲めば、それで満足し
ているのである。

世界のコーヒーのみ歩き

② 南ア 共和国・ダーバンの巻

ジャーナリスト 山下規嘉



いつか南米への船旅の途中、人種差別で有名なアメリカの白人国「南ア 共和国」最大の都市、ダーバンに寄ったときのコーヒーの味をお伝えしようと思う。

私の乗ったオランダの貨客船R号が入港すると、立派な白人のポートビルが私の注意をひいた。土曜日の朝、ビルの屋上にはシャレたラウンジがあり、若い男女や家族連れが、お茶を飲みながら入港風景を見物しているではないか。

長いインド洋の航海の疲れを、あの素直なラウンジでコーヒーでも飲んでいいそう。そう思うと上陸等待はお伝えしようと思う。

私はそのとき、日本人がこの国では「白人待遇」を受けることに、一応はなっていることに気づいた。

隣りのエレベーターはよく見ると立派だった。「ヨーロピアン専用」と記されていた。

そのエレベーターは白人の紳士淑女で、すぐ一杯になってしまった。上昇をはじめたとき、赤ら顔の高級船員服の男が誰ともなしに、こう

久しぶりの半ソデ姿からセビロ、ネクタイ姿へと変身した私は、憧れのラウンジへと向うためエレベータに乗った。ところが同乗している連中(黒人ばかり)英語で呟いた。

「コーヒー ホワイト・オンリー」

が私を見ながらブツブツしている。そのうち、印度人風の男が英語でこう教えてくれた。

「あなたはニッポン人、ヨーロピアンです。このリフトは非ヨーロッパ専用、あちらの方に乗って下さい。」

私はそのとき、日本人がこの国では「白人待遇」を受けることに、一応はなっていることに気づいた。

隣りのエレベーターはよく見ると立派だった。「ヨーロピアン専用」と記されていた。

そのエレベーターは白人の紳士淑女で、すぐ一杯になってしまった。上昇をはじめたとき、赤ら顔の高級船員服の男が誰ともなしに、こう

ヒーを注文した。ウェイターは全てインド系お客様だ。飲もうとしたそのとき、私は周囲に異様な雰囲気を感じた。驚いたことに、この客の大半の視線が私ひとりに集中しているではないか。それは好奇心の目ではなく、刺すような惡意のものだった。

他人をジッと見たり指したりするのは失礼である▼これは人類の、特に欧州系の連中のマナーであったはずだ。

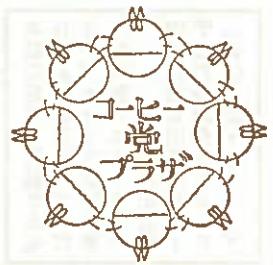
私はその無数の刺すよう

な視線の一つ一つに挑戦して行った。すると相手は目をそらしてしまってはいけないままエレベーターを降りようとはしなかった。

目の戦いは10分以上続いた。何しろ一对多數。一通り終了したとき、コーヒーは冷くなっていた。その味は……全く覚えていない。

ただ苦みだけが挑戦に疲れ

合席



た。ただ苦みだけが挑戦に疲れただ。私は、自分の躰にしみたのだった。私が掲げてある。怒りを抱いたまま入った私はコーヒーをよく呟くよう考

えた。

(次頁へ)

(前頁より)

もし客数を少なくして売上げをあげようとなれば、当然お客様ひとりから沢山のお金をいたたくといふことになり、安く美味しいコーヒーを提供しようと考えれば考えるほど、客数の増加・客回転をあげるという方向へ動いていってしまうのである。

そうすると結果として、コーヒーをゆっくり飲むということが、なかなかその店のムードとして客の方で要求しにくくなり、飲み終るとそそくさと立ち去るという結果になってしまふのである。

そこでなんとか、店の経済的な要求をみたし、かつ客の側としてもコーヒーを飲み干すなり、追い立てられるように席を立つという意味気なさを味わわなくてよい方法はないだろうか。

たとえば4人掛けの席に客が1人ずつ坐ったとする。するとこの4人掛けの席を1時間で一回転させる場合は、1人当たり25分間で席を立つてもらう必要が起きてくる。ところが、4

人掛けの席に4人の人が坐つてくれれば、4人の人が1時間ずつ坐っていても、1時間にその席は一回転したということで現実的な数字の上では両者は全く同じ結果を生むことになる。

ところで2人席、4人席とある中で、その各席がう

まくびったりと2人連れ、4人連れの客でふさがると

いうことはまず不可能である。そんなに都合のよいよ

うに客は来てくれない。

そこで一つの考え方だが、

店の中で4人連れを作り、

4人連れは4人席、2人連

れは2人席というふうにし

たらどうだろ。つまり即

席のコンビネーションを作

るのである。そうすれば、

店の方は予定の客数を達成

できるし、客の方も少しで

も長い時間粘つておれると

いう訳である。この作業、それがすなわち合席する、

といふことである。

合席によって、店の要求

と客の欲求に折り合いがつ

くならば、私は大いに合席

を活用すればよいと思う。

その方が結局、双方とも

に得なのではなかろうか?

添加物



本欄1行500円、お問合せは
日珈販、みずほ企画 (03)368-7709
東弘通信社・三浦 (03)572-6501

コーヒー



高級コーヒー豆「ばえむ」

は、選び抜かれた高品質の

コーヒー生豆を、熟練した

職人が手作りで煎りあげた

もので、コーヒーの本当の

美味しさを味わいたい人に

はぴったりです。

また、西ドイツのコーヒ

ー器具メリタにびたりと

合うように焙煎されていま

すので、淹れ方も手軽で、

多くの人々にご愛飲いただ

いております。

ばえむチャーンで発売中。

コーヒー器



世界で最も手軽に、最も

美味しいコーヒーが淹れら

れる西ドイツ型のコーヒー

器具「メリタ」。

「メリタ」は、西ドイツはもちろんヨーロッパでもアメリカでもプラジルでも、メキシコでも最も機能的に秀れたコーヒー器具として猛烈な勢いで普及しています。

美味しいコーヒーをお飲

みになりたい方はぜひ「メ

リタ」をお使いください。

「メリタ」はばえむチャ

ーンで発売中。

◆前号第7頁「世界のコ

ーヒーのみ歩き①ギリシアの

巻」の筆者は山下規墓氏で

す。筆者名脱落を深くお詫

びいたします。

